

2020年12月1日  
 発行/日本共産党市議団地域版  
 自宅/市川市須和田2-12-3  
 fax 047-705-6018  
 携帯 090-6310-3294  
 メールアドレス  
 shimizu@jcp-ichikawa.com  
 ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.133

# 医療体制の整備や市民の暮らしを支える予算に 来年度の予算要望を提出



11月20日、大津副市長（右側）に、予算要望を手渡し懇談しました。  
 （清水、金子、廣田、高坂、やなぎの各市議）

皆さんから寄せられたご意見なども取り入れた来年度の予算要望を市長あてに提出しました。コロナ禍のもとで、医療体制の整備や市民の暮らしを支えるための街づくりが求められるとして、「住民福祉の向上」をめざした予算編成を要望しています。

## 【主な項目】

### ◎福祉部

「貧困の連鎖」を拡大させる生活保護基準の引き下げをやめて、加算の拡充を国に求めること。  
 ・市営住宅が老朽化しており、バリアフリー化な

と設備の改修、改善を行うこと。

### ◎保健部

・コロナ禍で障がい者施設の休業や閉所が出ている。障がい者の受け入れ施設を確保すること。  
 ・コロナ感染対策のため

にPCR検査を抜本的に拡充すること。  
 ・国保税を上げないこと  
 ・18歳未満の子どもの均等割をなくすこと。

### ◎こども政策部

・医療費助成は18歳まで拡大すること。窓口負担300円を無料にすること。  
 ・公立保育園の民営化は見直すこと。  
 ◎総務部  
 ・核兵器禁止条約が来年1月に発効される。唯一の戦争被爆国としての日本も積極的に批准するよう国に求めること。

### ◎財政部

・コロナ禍で税金の支払いが困難な市民に対して納税相談体制を拡充し、税の減免など納税者の権利を知らせ、申請の相談にものるようになること。  
 ◎企画部  
 ・中核市への移行に関しては事務が移管される内容や市民への影響など情報を提供し、市民の意見を聞く機会を作るなど市民合意を前提として議論を重ねること。  
 ◎危機管理室  
 ・避難所が密にならないように、避難場所をさらに増やすこと。  
 ・市内の危険箇所の点検と対策、災害情報発信体制の強化を図ること。

### ◎街づくり部

・優良な空き家は、若い世代、高齢者、母子家庭などに安価で貸し出せるよう検討すること。

### ◎経済部

・「道の駅」に市川産農産物を置くスペースを広げること。  
 ・コロナ禍で事業者緊急支援は継続すること。

### ◎道路交通部

・外環周辺道路の交通量を調査し必要な対策を講じること。

### ◎水と緑の部

・公園のトイレ清掃をしつかり行うこと。洋式トイレに変えること。  
 ・下水道の整備がどこまで進んでいるか、地域の現状を明らかにすること。

### ◎環境部

・ゴミの減量、分別、リサイクルの強化に取り組みよう周知すること。  
 ・生ごみを捨てるスマートボックスの検証結果を市民に知らせ実用化を検証すること。（裏面へ）

- ◎市民部
  - ・個人情報漏洩防止のため、本人への通知制度を導入すること。
- ◎学校教育部
  - ・給食費は公会計になるが、無償化を検討。
  - ・教職員の増員、少人数学級への取り組みを早急に進めること。
  - ・就学援助制度の基準を改善し、教育費の負担軽減を図ること。
  - ・教材費の保護者負担をなくすこと。
- ◎生涯学習部
  - ・中央図書館の開館時間を延長すること。
  - ・放課後子ども教室をすべての小学校に設置すること。
- ◎消防局
  - ・市民の命と財産を守るために、消防職員の増員や必要な施設整備を拡充すること。
- ◎広報室
  - ・情報弱者に対して、市の情報を適切に届けるため「広報いちかわ」は、全戸配布(100%)。
- ◎議会事務局
  - ・市議会に関心を持ってもらうためにも「議会だより」の全戸配布を検討すること。

## 革新懇市民講座 「スーパーシティって何？」

11月7日、革新懇市川の市民講座が開かれました。テーマは「村越市長が目指そうとするスーパーシティ構想って何?」。講師は、NPO法人アジア太平洋資料センター共同代表を務める内田聖子さんです。

スーパーシティとは何、スライドを使い分かりやすく説明。この構想は、“後退する自治・民主主義”だと言います。AI(人工知能)とビッグデータを活用し、社会のあり方を根本から変えるような都市設計となるということ。政府が推し進め、内閣府は10の領域-①移動、②物流、③支払い、④行政、⑤医療・介護、⑥教育、⑦エネルギー、⑧環境・ごみ、⑨防災・緊急、⑩治安-示しています。市川市はスーパーシティに公募しなくても、十分にその方向は向いていることを実感しました。



## 議会に向けた懇談会

12月議会に向けた「市政懇談会」を11月19日に、市民会館で開きました。  
はじめに、提案された条例などを報告し、質問を受けました。補正予算で出された、65歳以上の方へのPCR検査について、「陽性の疑いがあった場合のみ連絡する」としているが、検査した全員に連絡できないのか」「医療従事者や介護従事者などを先に行うべきではないか」などの意見

が出され、議会質問に加えることになりました。  
また、地域に存在する空き家問題も深刻であることが出され、どんな内容で質問を行うのか。毎日、市川市から、コロナ感染者の情報が入るが、もう少し詳しくわからないのか。公立の国府台テイサービスセンターが民営化される議案に対して保育園や障がい者施設など次々と民営化を許しているのか、しっかり議論してほしい。など要望がありました。

◎12月15日(火)  
担当 田村陽平弁護士  
◎1月12日(火)  
担当 高橋勲弁護士  
午後2時から5時まで  
相談時間はひとり30分。  
予約は清水又は控室まで

無料法律相談



### 《主な活動報告 11月》

#### ☆11月21日「市川でよい芝居をみる会」公演

コロナ禍で各種イベントが中止になるなか、「市川でよい芝居をみる会」と「NPO市川子ども文化ステーション」がコラボし、1つの



作品を2ステージ行いました。作品は、前進座「ひとごころし」。4人の役者さんが、芝居、小道具、犬の鳴き声まで、何でもこなしながら、物語が進んでいきます。お客さんは会場の半分ですが満席で、子どもたちの笑い声も聞かれました。

久々のお芝居に、笑顔で帰路につきました。

#### ☆11月22日 特養待機者ゼロの会が宣伝

毎月一回、駅頭での署名宣伝活動を続けている「特養待機者ゼロをめざす会」。11月は本八幡駅。12月は市川駅の予定です。「母が特養に入所しています。家からは遠いです。身近な場所にほしいですね」などの声が聞かれました。



#### ☆11月27日 浅野候補と国府台駅で宣伝



夕方の京成国府台駅は、北風が吹き抜け、寒さが身に染みましたが、浅野候補と元気よく宣伝。高校生の校則問題のチラシを配布しました。